

八乙女



戸板神明宮

杳き日の新春の遊びをふと恋へり
お手玉幾つ浮かぶまなうら

篠原とみ子

新春随想 ゆずり葉に想う

壮年部 倉嶋清 峙

ある男、高僧に年頭にあいさつに行き、「めでたい言葉を一筆」と所望した。高僧はしばらく考え、「親死に、子死に、孫死ね」と書き渡した。男は、「親も子も孫も死んでは縁起が悪い」といふりかり問いただしたところ、「親が精一杯働いてから子に後を託して死ぬ。子はまた孫へと次の世代に託す。ゆずり葉と同じくめでたいことではないか」と答えた。男は納得し、家に持帰り家訓にし大切に保管したという。

ゆずり葉は、正月の縁起物として橙(ダイダイ)やウラシロなどと飾られ、当地ではダイダイとも呼ぶ。これは、新葉が整ったところで古い葉が落ち、新葉に受けつがれ、新旧があい譲る形で発展することへの願がある。

わが国の平均寿命は、男七十五才、女八十一才。夫婦の平均出産数は一・五七人。世界の最長寿命で最少出産国である。

この長寿国の将来について、生存の条件の悪化が進み、二十世紀には四十一才に短命化するとの警告する人もいる。

大気や河川の汚れの増大。食生活についての美食・過食、偏食。残留農薬、有害添加物の混入……。ガンなど難病の増加。病気抵抗力の低下……。加えて過労死や事故死。生活の豊かさを求めて得られたものにはこのようなものもある。

ふるさとは、空気や水、美しい山野も残されており、暖かい人情、堅実な生活態度も生きている。守り、悪くならないように次世代に伝えたいと祈る思いである。

雪空の下、庭先のゆずり葉を見やりながらこんなことを思い浮かべた。

楪(ゆずりは)に筆こころみん裏表

浪化上人

私の年、ひつじ年

山本由香

(昭和54年生)



一九九一年、新しい年をむかえて、私はがんばりたいことが二つあります。

それはチャレンジです。チャレンジには三つあります。一つはマラソン、二つ目はなわとび、三つ目は自由あそびの三つです。去年は、きついかいやだとかいってあまりできませんでした。だけど今年はそのいうことのないようにしたいと思いません。

それと二つ目は、一人ん車にのることです。自由あそびや体育かんのつかえる日は、よくのっています。まだ少ししかのれないけれどがんばります。

心と体の健康に

山本 稔



明けましておめでとうございます。今年で三度目の年男とは、本当に月日のたつのは早いもの

です。

近年、高齢化が進んでいく中で、私たちの年代も含めて、これからは心と体の健康に気を付けなければならないと思います。

そのために、これからは公民館で催されるスポーツ行事や各種行事に積極的に参加して、地区の皆さんと一緒に汗を流してその中で親睦を深めることによって、体と心の健康づくりに努め、一日一日を大切に頑張っていきたいと思えます。

羊年を迎えて

長田ひとみ

(昭和30年生)



明けましておめでとうございます。変化のない生活に退

屈していた二十代も過ぎ、はや三代半ばを迎え、変化のない生活が何よりも「幸せ」と感謝している今日です。

人生八十年代、これからも今まで以上に、いろいろなことに出会うと思いますが、多くの行事に参加し、視野を広めて何事も「善」と理解で

きるように、心がけてゆきたいと思えます。

私達の課題

高瀬 顕正

(昭和18年生)



私達が生まれた昭和十八年は、大平洋戦争の真つ最中。そ

して戦争が終わった時は二才。戦後の物資のない時代に小学生時代を過ごし、中学、高校、大学へと進むうちに、日本は高度経済成長路線を走り始めた。そして現在、日本の歴史に前例を見ない経済的豊かさと、物資的繁栄の時代に私達は生きている。

しかし、この豊かさと引き換えに私達が失ったものも数多くある。いくつもある中で次の二つを特に問題にしたい。一つは時間の問題。「忙しい」「忙しい」が日常の挨拶がわりになってしまった私達の生活はこれでよいのか。もう一つは、何もかも「競争の原理」の中に押し込めて、突っ走っている私達の生き方に対する疑問である。この失われたものを検証し取り戻すこと、それが今私達

に課せられた課題ではないかと私は考えている。

そして、高齢化時代を迎えての私達の生き方である。理想は年をとっても魅力ある人間になること。そのためには幾つになっても絶えず自己研鑽を重ねること。そういう生き方をしてゆきたいと、昨今考えています。

辛かった日々

川縁みさを

(大正8年生)



私は昭和十年に結婚しましたが、若く何も分からず、いろ

んなことを教えてもらおうと思っていたのに十二年九月主人に召集がきました。私は、目の前が真つ暗になりました。

主人の出發を笑顔で送らねばと送り出しましたが、とても辛い毎日でした。でも私のお腹に子供がいましました。主人は喜んでいましたが、私は、心配でたまりませんでした。おじいさんと二人で一町余りの田んぼを作ってきました。十三年三月に子供が生

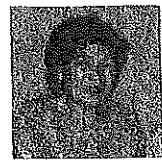
まれ、子供の写真を主人に送りまし
たらとても喜んでくれ、また送って
くれとのことでしたので八月に大き
く引伸ばして送ろうと思っていたら、
今第一線に立つから便りをしない
との手紙がきたので待ちました。と
ころが十三年十一月六日に戦死との
知らせがきました。びっくりして何
が何だかわかりませんでした。でも
日が経つにつれ子供のこと、主人の
ことを思い一生懸命がんばっていま
したが、なかなか出来ませんでした。
私が主人と別れた時代は、農業機
械もなく何をするにも手で仕事をし
なければなりませんでした。

田んぼを耕すのも馬か牛で、その
後は鍬でしなければなりません
た。稲刈も一株一株鎌で刈りそれを
干したりまた寄せたり、おじいさん
と二人ではなかなか仕事が捗りませ
ん。嫌になって泣いたこともありま
した。終戦後になりだんだん機械も
出てきて農作業も大変楽になり喜ん
でいます。

今では若い人達に任せ、神様・仏
様にお詣りして幸福な毎日を送って
います。

平和な時代を願って

前田トヨ子
(大正8年生)



え、私がそんなこ
と書かんがけい。
それでも年男女だれ

も村においでんないけーと言われて
またびっくり。体の都合の悪い方や、
お嫁に行かれた人、そうやねーと我
が身の長生きに気がつきました。私
達の時代を振り返れば支那事変、大
東亜戦争に行かれる兵隊さんを、時
折日の丸の旗で送りました。「モン
ヤ」と思い涙がこぼれました。当時
はご飯に麦や豆いも等を混ぜて食べ
ました。今でも走馬燈のように思い
浮かびます。

たくさん兵隊様の犠牲にあって
の今日であります。世界は一輪であ
ります。このような戦争は二度とし
てはならないのです。その後敗戦と
なり、物もたくさん出回ってきた反
面心が貧しくなりました。昭和天皇
が崩御になり平成となりました。先
日平成天皇の即位の儀式をテレビで
見て感激しました。平成の時代も長
く続きますようお願いしています。

最後にこの町、村が昔からの文化
を伝承して行ってほしいと思います。
それと共に私のマイナス思考をプ
ラス思考にして実践して行きたいと思
います。

平成三年度新しく成人になられる
若人のみなさんおめでとごさいま
す。心からお祝い申し上げます。
成人者は次の方々です。

院瀬見一区 山田 秀孝
院瀬見二区 山田 健司
院瀬見二区 松田 孝光
東城寺 須川 大
東城寺 谷川 徹
清玄寺 龜田 秀一
連代寺 箭原 朗子
谷 箭原 英司
戸板 中村 和茂
戸板 朝倉 小百合
川原崎 直江 美紀
沖村 松良 成
沖田 富元 子

ご成人おめでとう

井波町成人式が一月十五日文化セ
ンターにて開催され「はたちの主張」
に南山見地区代表松井真理子さんが
活発に発表されました。

私の目標

箭原 朗子

二十才といえば、以前はなんて大
人なんだらうと感じた。しかし、そ
の歳を自分が目の前にすると、私は
なんて未熟で情けない存在なのだろ
うかと思う。

最近の風潮の「自分さえよければ」
という部分が、私にも当てはまるの
ではないだろうか。自分がイヤだと
思う所は避けるようにして、楽なこ
とばかりするといったわがままな所
である。家族や周りの友人に迷惑を
かけっぱなしである。

いくら自分が未熟な存在であらう
と、これから周りの人達から一人前
の大人として扱われる。そんな時、
今までの態度では通用しない。もっ
と周りをよく見て、しっかりと自分
の意見を持ち、接していきたい。そ
れから時間を大切に、有効的な
使い方をしなければならぬ。余裕
を持ち、活動的にならうと思う。遊
ぶばかりでなく、スポーツをしたり、
地域社会の活動に積極的に参加した
りしていこうと思う。

八乙女フェスティバル

八月十五日好天氣に恵まれ、恒例のバレエボール大会が盛会裡に終了し、やがて周囲が薄暗くなった公民館運動場には児童たちが腕を奮って描いたあんどんに灯が入り踊りの提灯も灯された。

今年は開町六百年記念事業に合わせ想い出になる納涼祭になるようにと、各団体がそれぞれ一人でも多くの皆さんに参加していただくよう、フェスティバルの事前準備に大変な努力をいただいたお蔭様で、用意した八乙女フェスティバル名人入りタオルが無くなるほど人気が集まり盛会だった。



今後も八乙女フェスティバル(祭)がさらに楽しく続くようご協力とご参加をお願いしたいと思います。

(直江記)

地区バレエボール大会結果

- 優勝 沖Aチーム
- 次勝 戸板チーム
- 参勝 院瀬見四チーム

米 寿 (88歳)

- 前川かね (院瀬見二区)
- 田村つた (院瀬見三區)
- 長田助太郎 (院瀬見三區)
- 亀田あを (連代寺)
- 松倉めつ (戸板)
- 横江はの (川原崎)

牽 寿 (80歳)

- 長田為二 (院瀬見三區)
- 吉田助義 (院瀬見三區)
- 渋谷尚次 (連代寺)
- 畠 綾子 (川原崎)
- 原田志の (川原崎)
- 宮嶋美久 (沖)

喜 寿 (77歳)

- 松田美雪 (院瀬見一區)
- 長田たつ (院瀬見三區)
- 池田喜八 (清玄寺)
- 箭原要吉 (連代寺)
- 江守ヒサ子 (志観寺)
- 前川順作 (谷)
- 山本よし (谷)
- 松井三郎 (里領)
- 高嶋みよ (沖)
- 富田くめ (沖)

ビーチバレエボール大会

決勝トーナメントの結果

- 優勝 沖Dチーム
- 次勝 谷チーム
- 参勝 沖Eチーム

南山見地区体育祭

雨天のため井波小学校の体育館で行われ、室内での競技においてお互いちょっとした戸惑いもありましたが、各チームのそれ走れ、それ跳べの腹の底から送る応援の歓声で盛大に終わりました。

成績は次のとおりです。

種目	1組(赤)	2組(白)	3組(水)	4組(緑)	5組(黄)	6組(紫)
満水レース	3	6	1	2	4	5
ボールけりレース	4	3	2	1	6	5
ボールはねびレース	1	2	3	6	5	4
玉入れ	2	1	3	6	4	5
タヤチ丸レース	5	1	6	2	4	3
ゲートボールレース	6	4	3	2	5	1
百足レース	6	2	3	1	5	4
障害物レース	4	8	6	2	10	12
綱引き	4	12	6	2	10	8
年代別リレー	6	2	4	12	8	10
得点合計	41	41	37	36	61	57
総合順位	3	4	5	6	1	2

町体育祭 三年連続雨天中止

南山見少年研修館

活動のお知らせ

ピアノ部

日頃、南山見は自主的に行動がなされているとはいえ、子供自身も一人一芸を目指して、月四回、保育所から六年生まで、熱心にピアノの練習をしています。

クリスマス会には、六年生の三人で、見事なクリスマスケーキを作り、二十二名の部員、暗闇の中ロソクに点火、クラッカーの打ち上げで始まり、皆それぞれ一曲ずつ披露して、そのあとクイズをしたり、歌を歌ったり、とても楽しい雰囲気でした。私も同席させて頂き、童心に戻り楽しい一時を過ごさせて頂きました。これからも健やかに伸び学んで下さることを心から祈ります。

書道部

第三十四回、書学会主催の現代学生競争大会が、去る十一月二十二日、二十三日、金沢市観光会館で行われました。

南山見少年研修館、書道部で上位入賞された人は



「みんなで文化の輪を拡げよう」をテーマに、今年も十一月十八日に恒例の文化祭が盛大に行われました。晴天に恵まれ、大勢の参加者で賑わいました。

今年が開町六百年に当たり、青少年育成井波町民会議主催のタイムカ

南山見地区文化祭

富山新聞社賞 岩崎雅且
富山テレビ放送賞 宮川里美
表立雲会長より賞状と素晴らしいカップを受けられました。

おめでとうございます。これからも書の勉強に励んで下さい。(T)

農産物展示



今年度は、台風19の影響を受けてか、例年に比し点数は減って55点。穀類や柿などは特に少なかったが、野菜などは見事な出来栄であり13点入賞。

プセル埋設記念事業もあり、一段と内容に深味をもちました。各種団体による作品展示、農産物の展示・即売、各グループによる盛り沢山の舞台発表等で楽しい一日でした。

内容も年々充実し、幼児から老人に至るまで、大変意義のある集いであつたと思います。これからも、地区の触れ合いの場として、文化の輪を拡げ、一層の進展を期待しています。(田村)

タイムカプセルを埋設して



記念すべき開町六百年の年に地区文化祭と同時に、しかも盛大にタイムカプセルを埋設することができました。南山見地区の方々全員の協力の賜ものと感謝しております。

二十一世紀に向かって歴史は刻まれていきますが、これまで歩んできた速度よりもっと加速され躍進すると考えます。

二十年後、三十年後の政治、経済、生活、スポーツ、文化等はそのように進歩しているだろうか？ その時点で現在を振り返り、タイムスリップした時の疑惑感は一一人ひとりのように違うのでしょうか。

二十年後の八乙女フェスティバルで大集合し、全員で開封して、笑い、楽しみ、悲しみ、苦しみ等老いも若者も共に生き、明るく豊かな町づくりを願っています。(谷川記)

まちづくりを語るついで

十一月二十三日夜七時三十分より南山見公民館において、町長・助役・収入役・教育長を迎えて開催され、初めに清都町長から町政全般にわたる丁寧な説明があり、小橋主事の司会により参加町民の皆さんから活発な意見が寄せられ終始盛会であった。主なる意見は次のとおり

一、冬季における町道の除雪対策について

二、若者が定着できる住みよい町づくりについて

- (イ) 町道の消雪装置
- (ロ) 農村下水道の計画推進
- 三、口山林道の取付け並びに河川整備、災害復旧(台風19号)促進
- 四、林道八乙女線の改修および保全
- 五、不動滝や不吹堂の観光地化に伴う近辺整備と冬季除雪
- 六、懸案の八乙女山トンネルの実現化
- 七、老人憩いの場や老人居宅介護施設の建設
- 八、マージン園散歩の舗装並びに保育園通園道路の拡張
- 九、防火水槽の増設(未設地区)と既設水槽の水利改善
- 十、地域の活性化につながるリゾート構想と環境保護について 以上

(K・A記)

婦人防火クラブ結成

平成二年十一月十三日、南山見婦人防火クラブが結成されました。

台所を預る一家の主婦が、重要なことを疎かにしているように思いました。ガスコンロからの出火が多いことは、マスキでもわかりますように全国トップです。それに暖房器具も欠かせません。「自分の家は自

分を守る!! そして地域を守る!!」このことを再認識するために防火クラブでは必要だと思えます。

皆さん、今後このクラブで、実習・救護会・防火講演会等、事業が組まれると思えます。一度でも多く出席され認識を高められて、一家の中心となり自分の家を守って頂くことを願います。

なお、今日に至るまで、関係各位の皆様方にご協力頂き、誠にありがとうございました。

南山見婦人防火クラブ役員

- 会長 田中美智子
- 副会長 田中和美
- 支部長 一支部 池田啓子
- 二支部 沢田洋美
- 三支部 山本千恵子
- 庶務会計 青山哲子
- 会員数 一三八名



(山崎)

獅子舞競演会に参加して



開町六百年の記念行事、獅子舞競演会に参加でき、獅子方連中一同、大変感謝しております。

県外の二つの招待獅子とともに、町内十一の獅子が一同に舞う姿は、まさに井波の伝統芸能の真髄を見る思いでした。

町内十一の獅子は加賀獅子の流れをくむものといわれ舞い方、囃子方にもよく似た点がありますが、それぞれに特色があり、自分たちの見せ場をつくるように演出し、特色を生かした舞ができるように努力しました。

「いいぞー」「うんまいぞー」等の声が観客からかかり、自然と頭を振る手にも力がこもる場面もあり、獅子と獅子取りの食うか食われるかの気合の入ったいい舞が出来たと思えます。

これも皆、獅子方の先輩方からの指導、伝承のおかげだなあとという気持ちでいっぱいでした。

私達も後輩に、このすばらしい郷土芸能を伝えていく大切さを改めて感じました。

蓮田松夫

編集後記

ご寄付
 ありがとうございます
 公民館備品費 二万円
 平成二年度婦人部ご同様

毎年、年が改まるたびに「今年こそ」と気合を入れ直すのですが、いつも「来年はやるぞ」と思いながらも、年が暮れていきます。そんなことを繰り返しているうちに、とうとう二十世紀最後の十年が始まりました。今年ヒツツ年、古く中国ではこの十二支と甲乙丙丁……と数えていく十干を組合せ六十通りの干支により占っています。とりわけ今年「辛未」辛い未も八番を表し、未広がり重なる「めでたい年」とされています。このめでたい年に残された十年のスタート……。

さあ、準備はいいですか。皆で力を合わせ、二十一世紀の未来に向けて飛翔しましょう。